

第2回 栗東市自殺対策推進協議会 要点録

(2023 年 10 月 1 日作成)

1	会議の名称	第2回 栗東市自殺対策推進協議会		
2	会議の開催日時	2023 年9月 26 日(火) 15 時 30 分～16 時 30 分		
3	会議の開催場所	栗東市役所 2 階 第 1 会議室	公開の可否	可
4	事務局(担当課)	障がい福祉課	傍聴者数	0名
5	非公開の理由 (非公開 (会議の一部非公開を含む。)の場合)			
6	協議事項	(1) 第2期栗東市自殺対策計画 計画策定の概要 (2) 第2期栗東市自殺対策計画 素案 (3) 自殺対策に関する現状と課題 (4) 今後のスケジュール		
7	審議等の内容	別紙のとおり		

第2回 栗東市自殺対策推進協議会 要点録

(2023年9月26日(火)開催)

開会

事務局

定刻になりましたので、第2回栗東市自殺対策推進協議会を開催します。開催に当たりまして、市民憲章を唱和します。

(市民憲章唱和)

事務局

会長よりご挨拶をお願いします。

(会長挨拶)

事務局

ありがとうございます。

続いて、本日の資料を確認させていただきます。

(配布資料確認)

事務局

協議に移る前に、本日欠席の委員を報告させていただきます。本日は山口委員が欠席されています。

それでは、会長に議事進行をお願いします。

会長

協議に移る前に、協議会の公開について事務局に確認します。傍聴者はいかがでしょうか。

事務局

本推進協議会の傍聴の申し込みはありませんでした。

会長

ありがとうございます。それでは本推進協議会を公開とします。

(1) 第2期栗東市自殺対策計画素案について

会長

議事の(1)について、事務局より説明をお願いします。

事務局

(資料に沿って説明)

会長

事務局より、計画の前段、理念、数値目標について説明いただきました。

ご質問のある方は挙手をお願いします。

委員

多職種連携について、計画のどこへ記載されているのでしょうか。

事務局

多職種連携と直接記載はしていませんが、課題が複雑化・多様化する旨を記載しており、様々な職種が連携する必要性があると感じています。

委員

栗東市の自殺死亡率の男女比について、男女間で大きな差があります。

急激に自殺死亡率が上昇していることについて分析をすべきでないかと思います。壮年期の男性について企業にお任せするのではなく、企業との連携を死亡率の分析と関連して掘り下げるべきでないかと思います。

10 ページの県の相談事業は承認を得た人が対象となっています。自殺未遂で搬送される人はどのように把握されているのでしょうか。もともとの傾向を把握すべきでないかと思います。また、精神疾患が原因でない人が半分いるということでもあると思います。自殺の原因が疾患等ではない人をどのように原因づけられているのかということが重要だと思います。

事務局

壮年期の自殺について実態が見えていないため、今後調査を進めていくべきだと考えています。商工観光労政課と連携し、調査・分析を改めて進めていきたいと思っています。

委員

自殺未遂の救急搬送は、草津の警察等が情報を把握しているかと思っています。

委員

県の相談事業に同意していない人の数が出ていると思います。

委員

県の相談事業による未遂者の把握について、母数がどれくらいあるのか把握すべきだと思います。また、毎年の件数がわかれば、グラフ等で自殺未遂者の推移が示せるのではないかと思います。

会長

顕著に見える傾向を踏まえ、詳細に分析・検討する必要があると思います。

次回までに分析し、計画に反映できればと思います。事務局の方にて改めて検討・分析をお願いします。

委員

自傷等で搬送された件数について消防でも把握しています。ただし、あくまで通報があった件数についてのみの把握で、通報のなかったケースについては把握できていません。改めて、事務局に情報提供させていただければと思います。

会長

続いて、数値目標についてはいかがでしょうか。

委員

年度によって自殺者数のばらつきが出ているため平均をとることの必要性はわかるのですが、基準となる数値についても平均をとるということの意味をお聞かせください。

事務局

現行計画にあわせて、また国や県の動向も踏まえて設定しています。

委員

県は全市町の数値を踏まえて目標値を設定しており、数値がある程度県や国の数値にあわせて考えると、市の現状を見失うことになります。

今の数値目標を達成できていない状況で、さらに高い数値目標を捉えるということも現実的ではないと思われます。

自殺未遂の傾向等も踏まえ、数値目標を設定する必要があると思います。

事務局

市の状況に合わせた数値目標を検討したいと思います。

会長

理念についてはいかがでしょうか。事務局としては副題を追加する形が良いとのことでしたが、いかがでしょうか。

ご意見がないようですので、副題を追加する形で進めたいと思います。

続いて、自殺対策の取組について、事務局に説明をお願いします。

事務局

(資料に沿って説明)

委員

未遂者の分析で精神疾患の有無を示されていますので、精神疾患を自殺対策のハイリスク者と捉えていると感じました。計画の取り組みの中では精神疾患という直接の記載はなく、障がいのある人といった記載となつていて感じました。精神疾患のある人への支援というものが、障がいのある人への支援に含まれているという理解でよろしいでしょうか。

事務局

現段階では、障がいのある人への支援に含めています。ですが、障がいのある人と精神疾患については、対象となる人が変わってくると思うので、記載や取り組みについては再度検討したいと思います。

委員

市町の範疇を超えるかもしれませんが、情報へのアクセスしやすい環境づくり等を記載いただけると精神疾患のある方への支援につながると思います。国や県の取組も参考に、記載を検討していただければと思います。

会長

自殺の原因にうつが多くなっているということも挙げられていました。全体的な原因を踏まえながら、対策を検討するようお願いします。

委員

アルコールの断酒会は大きい取り組みだと思うので、記載を入れても良いのではないかと思います。どこかに含めるというのも手ではありますが、はっきりと記載しても良いと思います。

会長

前回の計画に説明や新しい取り組みを追加したというのが今の計画だと思います。内容も多いため、改めて読み、次回ご意見をいただきたいと思います。

高齢者が施策体系に含まれていないことは、国や県の体系にあわせてということでしょうか。

事務局

現行の計画が市独自のライフステージ別のものであり、国や県の計画の体系にあわせて組み替えています。国が示している計画策定手引きを参考にしています。

委員

あえて高齢者を外したということが気になります。今の体系で対応できているということかもしれませんが、現行計画にも記載されていますので変更の意図をお聞きできればと思います。

事務局

取り組み自体を削除したわけではありません。次期計画でも高齢者に対する取り組みが体系内に含まれていますので、しっかりと対応していきたいと考えています。

委員

高齢者はしがらみから解放され、執着等が薄れると言われています。そうした高齢者に関わる支援については、施策7の生きることの支援に高齢者への取り組みも含まれると思います。

生きることを阻害する要因について、少しでもわかりやすく記載できればと思います。

委員

若年者の薬物乱用が問題になっており、風邪薬の濫用も問題になっています。これらの問題への対応も検討してもらえないでしょうか。また債務者への支援も重要だと思います。計画に包含されているのかもしれませんが、改めて検討をお願いできればと思います。

令和4年の自殺者数が増加していたことについて、難しいと思いますが、施策の進捗状況と組み合わせで示してもらえたらと思います。

事務局

いただいた内容について、計画で示して発信していかないといけない内容についても検討し、記載を考えていきたいと思います。

会長

他にご意見がないようですので、次回のスケジュールについて、事務局にお願いしたいと思います。

その他

会長

それでは進行を事務局にお返しします。

事務局

たくさんご意見をいただき、ありがとうございます。
令和4年度の自殺者数について、分析を深めたいと思います。

閉会にあたりまして、副会長よりご挨拶をお願いします。

(副会長挨拶)

事務局

ありがとうございました。これにて、本日の推進協議会を終了します。

<閉会>